

市町村名	恩納村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	文化・観光情報発信拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	教育委員会 社会教育課	事業実施（予定）年度	平成24～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	恩納村の歴史・文化並びに地域における各種イベント等の観光関連情報を観光客へ発信する為の基盤整備を行い、「文化交流型産業」の活動を推進する。 平成24年度においては、恩納村文化情報センター施設の実施設計を実施。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	52,500				
		(b) 予算現額	52,500				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	-				
		A. 計 (b+d)	52,500	0			
	B. 執行済額	42,462					
	うち交付金充当額	33,970					
	次年度繰越額	0					
	執行率（%）(B/A)	80.9%					
予算の状況の説明	不用額が10,038千円発生しているが、委託費の入札残によるものである。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・仲泊内海隣接地へ恩納村文化情報センターを整備 ・実施設計の実施	目標	（ 実施設計の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	実施設計の実施				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	・文化情報センター調査測量設計委託業務の実施により、実施設計が完了した。 ・当初契約時より作業量の変更（減）があったため、改定契約（△63千円）を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）	基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	恩納村文化情報センター施設の実施設計の実施	目標	（ ）	（ 実施設計の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		実施設計の実施			
	【参考指標】	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績					
	進捗状況説明	・文化情報センター施設の実施設計の実施により、平成25年度開始予定の「恩納村文化情報センター」建設工事を実施することができる。 ・「恩納村文化情報センター」は平成27年度完成予定、平成28年度に供用開始の見込である。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 建設予定地が沖縄海岸国定公園第2種特別地域内にあるので、赤土流出防止対策、周辺の風致景観の保全等に考慮する必要がある。 観光情報案内フロアにおける情報発信コンテンツの導入並びに情報コーナーにおける観光客への提供サービスについて、審議が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県環境生活部自然保護課と十分な調整を継続して行き、周辺環境の保全に取り組む。 関係各課及び機関と連携を図り、観光誘客における効果的なコンテンツの導入並びに提供サービスを検討する。

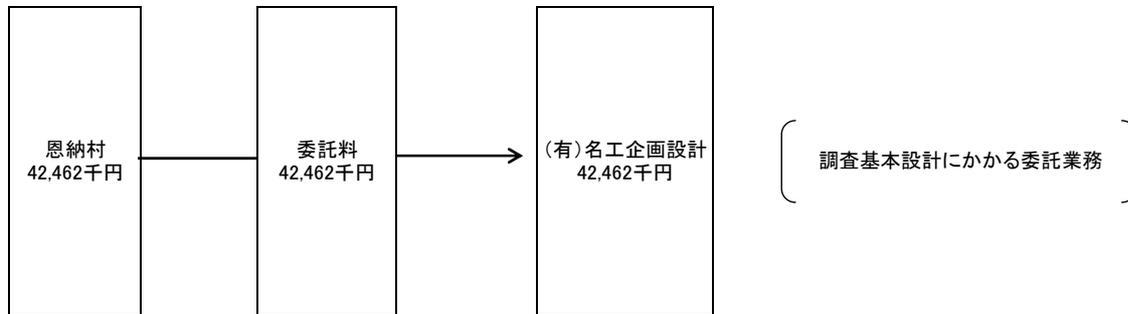
今後の取り組み方針

・基本設計に基づき、建設工事を実施する。工事着手にあたり、建設予定地が沖縄海岸国定公園第2種特別地域内にあることから、環境保全については県担当部局と連携を図り取り組むものとする。

・情報コーナーと観光案内コーナーが併設する先進施設の視察研修、並びに観光施設・宿泊施設等への調査を行い効果的なコンテンツと提供サービスの導入に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
42,462	42,462	33,970	8,492	



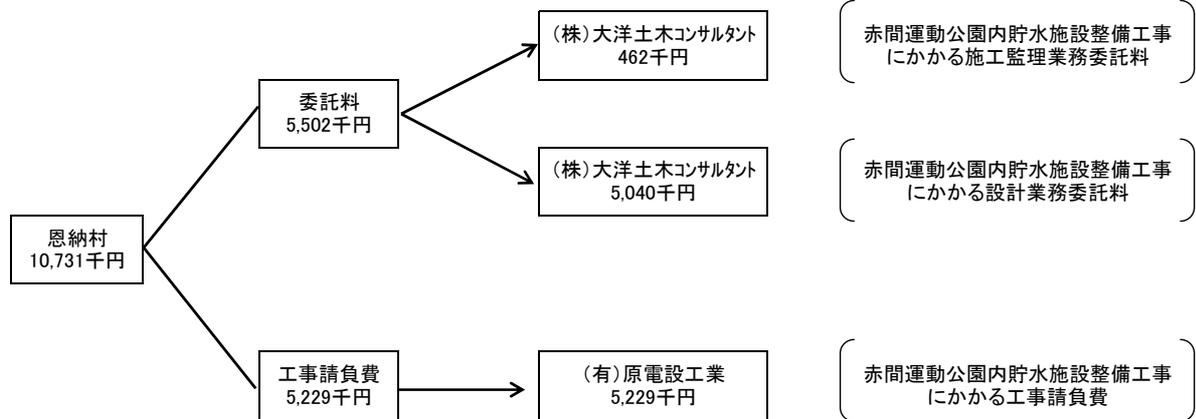
資金の用途の点検・評価・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名入札により選定しており妥当と考えている。 ○予算規模については、設計価格、予定価格を定めており、超越していないので、妥当と考えている。 ○費目・用途については、地質調査、基本設計に係る費用で、基盤整備には必要であり、妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	赤間運動公園内貯水施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	プロ野球チームやナショナルサッカーチームのキャンプ地として活用されている赤間運動公園に整備されている芝の維持管理に必要な水源を確保し、年間を通し芝を良好な状態に保ち、キャンプ等の定着を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		23,400				
			12,544				
			▲ 10,856				
			-				
			12,544	0			
		B. 執行済額					
		10,731					
		うち交付金充当額					
		8,585					
	次年度繰越額						
	0						
	執行率 (%) (B/A)						
	85.5%						
	予算の状況の説明	・当初予算に対し予算現額の減額(10,856千円)は、設計業務で調査した結果、当初予定していた工法よりも費用が安く、効果がある工法が見つかったためである。 ・執行残額については、入札残によるものである。(1,813千円)					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・赤間運動公園内に貯水施設を整備 ・調査・実施設計、整備工事の実施	実績	(調査・実施設計整備工事の実施)	()	()	()	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・赤間運動公園内貯水施設整備設計委託業務及び整備工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	赤間運動公園内の貯水施設の実施設計、整備工事の実施	目標	()	(実施設計整備工事)	()	()	()
		実績		実施設計整備工事の実施			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・平成24年度末に工事完了し、平成25年度から供用開始する。 ・指定管理者より4~5月は雨の日以外は毎日散水しており、芝の状態も良好との報告があった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・貯水した水源の水質管理や、キャンプ等の受入時期等の調整が必要になってくるので、指定管理者側との調整が必要である。</p>	<p>・定期的な水質検査の実施、早い時期から各団体のキャンプ時期等の調整を行う。 ・プロスポーツの使用に対応した芝管理者の育成に取り組む。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・指定管理者側での水質検査、清掃業務を実施するとともに、キャンプ団体受け入れの増加や県外者の施設利用を多くするために、年間を通して良好な芝コンディションの維持を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,731	10,731	8,585	2,146	



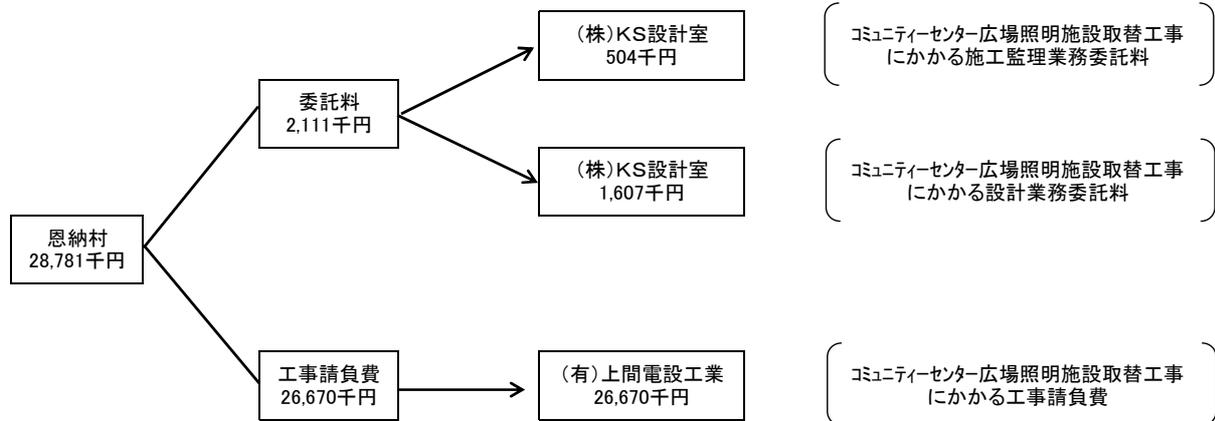
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名入札により選定しており妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、設計価格、予定価格を定めており、超越していないので、妥当と考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により、確認、適当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④ 恩納村コミュニティーセンター広場照明施設取替工事		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ		
	担当部課名 教育委員会 社会教育課		事業実施(予定)年度 平成24年度		世界水準の観光リゾート地の形成		
事業内容			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(1)		
	「うんなまつり」や「美らしまオキナワセンチュリーラン」等の会場であるコミュニティー広場の照明施設を改善し、夜間、未明に行われるイベント開催時の照度の向上と安全を確保し、各種イベントの定着化を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	32,511				
		(b) 予算現額	31,862				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 649				
		(d) 前年度繰越額	-				
		A. 計 (b+d)	31,862	0			
	B. 執行済額		28,781				
	うち交付金充当額		23,024				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		90.3%				
予算の状況の説明		・当初予算と予算現額の差額は、設計業務委託料の執行残額を649千円減額したものである。 ・執行残額については、入札残によるものである。(3,081千円)					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	コミュニティーセンター広場の照明施設取替工事 実施設計、取替工事の実施	目標	(実施設計・取替工事の実施)	()	()	()	
		実績	実施設計・取替工事の実施				
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	・恩納村コミュニティーセンター広場照明施設取替工事設計委託業務及び取替工事を実施した。 ・恩納村ウォーキングフェスタ2012(12/16)、美らしまオキナワセンチュリーラン(1/20)の会場となっていたため、当初スケジュールに変動があったが年度内に事業を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	コミュニティーセンター広場照明施設の実施設計、取替工事の実施	目標	()	(実施設計・取替工事の実施)	()	()	()
		実績		実施設計・取替工事の実施			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・平成24年度末に工事完了し、平成25年度から供用を開始する。 ・恩納村ウォーキングフェスタ2012(12/16)、美らしまオキナワセンチュリーラン(1/20)で会場を利用するため、工事発注が当初スケジュールから変更したが、年度内に事業を完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・恩納村ウォーキングフェスタ2012(12/16)、美らしまオキナワセンチュリーラン(1/20)の会場となっていたため工事期間等の調整があった。 ・定期的な照明施設の安全管理、イベント等の受入などの調整が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な安全点検を実施するため指定管理者側との調整、またイベント等の受け入れや施設利用など関係機関との調整を行う。 ・施設を有効に活用するため、予約状況を加味しながら点検等を実施し、できる限り使用制限は行わないようにする。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全な利用、イベントの定着化を図るため、指定管理者側での定期的な安全点検の実施や、イベント定着化に向け、関係機関との連携を推進する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
28,781	28,781	23,024	5,757	



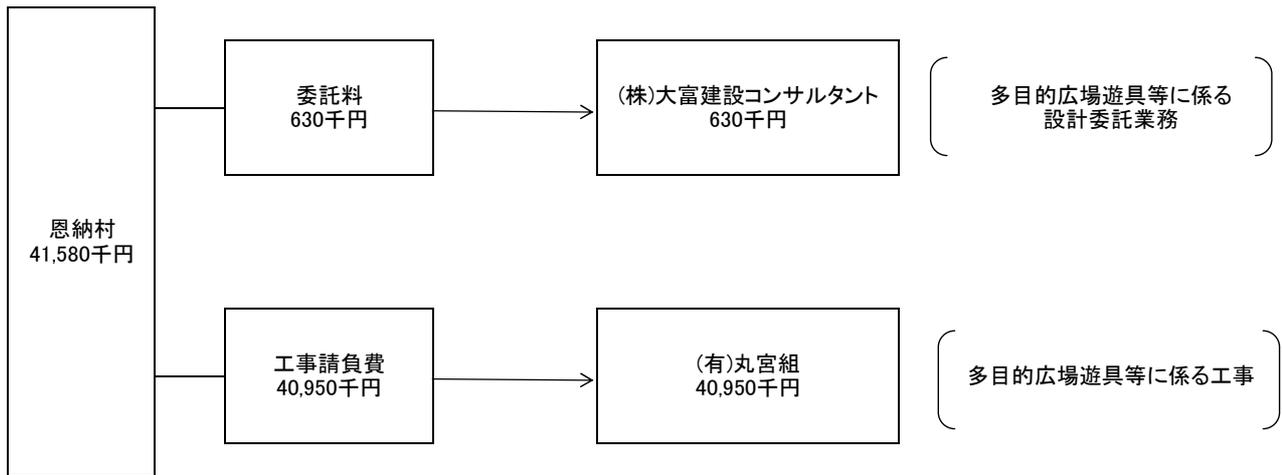
資金の用途の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名入札により選定しており妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、設計価格、予定価格を定めており、超越していないので、妥当と考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により、確認、適当であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	恩納地区観光環境整備事業(恩納多目的広場遊具等整備事業)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ			
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	恩納地区における児童遊具及び大人を対象とした健康器具を設置することにより、本村海浜公園を訪れる観光客等のアクティビティーが充実し、更なる観光客等の誘致を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	46,300				
		(b) 予算現額	42,130				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 4,170				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		42,130	0			
	B. 執行済額		41,580				
	うち交付金充当額		33,264				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		98.7%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。 増減額▲4,170千円については、遊具の資材単価の決定方法として特別調査を実施したことにより減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	恩納多目的広場へ遊具等の整備 実施設計、工事の実施	目標	(実施設計・工事)	()	()	()	
		実績	実施設計・工事				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	恩納多目的広場遊具等設計委託業務及び整備工事を実施した。 (児童用遊具・幼児用遊具・健康器具、その他一式)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
	恩納多目的広場遊具等の整備	目標	()	(実施設計・工事)	()	()	()
		実績		実施設計・工事			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成25年のゴールデンウィークには観光客の利用が確認され、今後観光客等のアクティビティーが充実し、更なる観光客等の増加が見込まれる。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	児童遊具のアイテムにおいて、観光客等の児童と同年代である村内保育園の父母へのアンケート実施を行い、その結果を基に各メーカーのプレゼンにて児童遊具の選定を行ったが、観光客等へのアンケート実施には至らなかったため、観光客等のニーズに対応できる仕組みづくりが今後の課題である。	平成24年度事業については事業期間が短かったが、事業効果の発現を高める観点からも、ニーズに十分配慮した施設整備の設計期間は、十分な確保が必要不可欠であり、事業実施の早期着手の改善は必要である。
	今後の取り組み方針	
<p>更なる観光客等の誘致を図る為に村広報誌の活用を図っており、今後の取組として観光客等のアクティビティーが充実したことを周知するために、合わせて村ホームページの活用も図っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
41,580	41,580	33,264	8,316	



資金の流 用途の流 れ、点検 評価・ 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事請負業者は指名競争入札方式により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、書類及び現場確認により適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	瀬良垣地区観光環境整備事業（瀬良垣漁港便益施設整備事業）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	農林水産課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本村の瀬良垣地区は、目前の美しい海を活かしたマリンレジャー関係事業が盛んであり、ダイビング等目的の観光客が多く訪れている。その拠点となる瀬良垣漁港は船揚場等基本的な施設は整備されているが、トイレ等が整備されていないため不便をきたしている。そこで、漁港内にトイレ等便益施設を整備する事により、観光客等の受入体制の充実を図り満足度を高め、更なる観光客の誘客活動を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	22,112				
		(b) 予算現額	31,565				
		(c) 増減額 (b-a)	9,453				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	31,565	0			
	B. 執行済額	うち交付金充当額	23,008				
		次年度繰越額	0				
		執行率 (%) (B/A)	91.1%				
	予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	瀬良垣漁港における観光客受入体制の整備 実施設計、整備工事の実施	目標	(実施設計 整備工事の実施)	()	()	()	
		実績	実施設計 整備工事の実施				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	瀬良垣漁港における漁港便益施設の実施設計、施設整備の工事を行い観光客受入体制の整備が構築された。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	瀬良垣漁港便益施設の整備	目標	()	(施設の整備)	()	()	()
		実績		施設の整備			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	平成24年度末に施設整備等を完了し、平成25年度供用開始となっている。今後は観光入込数（ダイビング客等）の調査を行い、効果を検証する予定である。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	目標である実施設計及び整備工事の実施による当初計画の目標状況を達成したものと考えていることから、事業を推進する上で一定の成果が出ていると考える。	当該施設の更なる効果の促進を図るため、周辺施設の充実した計画、整備が必要である。
	今後の取り組み方針	
<p>今後は観光入込数(ダイビング客等)の調査を行いながら、漁業協同組合や県、国など関係機関との調整を密に図り、充実した実施計画を立て取り組んで行く。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	28,760	28,760	23,008	5,752	
<pre> graph LR A[恩納村 28,760千円] --> B[委託料 1,565千円] A --> C[工事費 27,195千円] B --> D["(株)AMS設計 1,565千円"] C --> E["(株)真栄田造園 27,195千円"] D --- F["(瀬良垣地区観光環境整備事業に係る設計委託業務)"] E --- G["(瀬良垣地区観光環境整備事業に係る工事費)"] </pre>					

資金の流 れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事請負業者は指名競争入札方式により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、書類及び現場確認により適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦		恩納村「みどりの回廊」整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
	担当部署名	商工観光課		事業実施（予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)
事業内容	魅力ある観光地づくりを行うため、国道58号線周辺の緑あふれる癒しの沿道景観づくりのほか、海浜における漂着ゴミ等の処理などを行い、観光客の誘客促進を図り地域活性化を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		20,000				
			11,004				
			▲ 8,996				
			—				
			11,004	0			
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率（%）(B/A)		11,004				
			8,803				
			0				
			100.0%				
予算の状況の説明	当初10ヶ月間の実施予定だったが、実施期間を7ヶ月間に変更したため、当初予算額より減となっている。						
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	植栽本数（累計）	目標	（ 380本 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	429本				
	漂着ゴミ除去箇所	目標	（ 11か所 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	11か所				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地やそのアクセス道の草刈り、海浜における漂着ゴミの処理や植栽をすることで、魅力ある景観づくりができた。 ・度重なる台風の影響により木の植え替えを行ったため、植栽本数が増えた。 						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
	植栽本数（累計）	目標	（ 0 ）	（ 380本 ）	（ ）	（ ）	（ 2,000本 ）
		実績		429本			
	漂着ゴミ除去箇所	目標	（ 0 ）	（ 11か所 ）	（ ）	（ ）	（ 11か所 ）
		実績		11か所			
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地やそのアクセス道の草刈り、海浜における漂着ゴミの処理や植栽をすることで、魅力ある景観づくりができた。 ・度重なる台風の影響により木の植え替えを行ったため、植栽本数が増えた。 ・今後、平成28年度に向けて植栽本数を増やしていく予定であるため、植栽後の管理の方法について、検討していく必要がある。 					

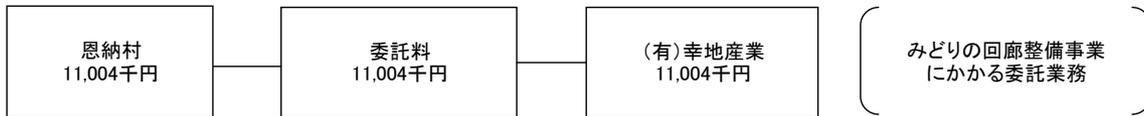
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地としての見せ場を作る工夫が必要である。 ・海浜清掃で発生したゴミの搬出量を正確に把握することが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽エリアのポイントを絞り、重点的に整備する。 ・また海浜清掃で発生したゴミの搬出量を計量し把握する必要がある。

今後の取り組み方針

- ・平成25年度は植栽によって観光地としての見せ場を作るような工夫をする(村木のフクギを植え、並木道の整備を検討する)。
- ・また海浜清掃におけるゴミの搬入量を毎月ごとに提出してもらう。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
11,004	11,004	8,803	2,201	



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は村内の造園業者の中から指名入札により選定しており、妥当であったと考えてる。 ○費用については委託設計書を作成しており、支出等はそれに基づいて行われており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村
------	-----

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑧	万座毛周辺活性化施設整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖繩振興基本方針該当箇所
				世界水準の観光リゾート地の形成
				Ⅲ-1-(1)

事業内容
年間84万人が訪れる景勝地「万座毛」は、トイレやおみやげ品店等の老朽化が激しく、また狭隘な駐車場は観光客と車両が混在する等の危険な状態である。そこで、トイレ、売店、休憩所等の活性化施設及び周辺環境整備を行うことにより安全で魅力ある観光地の形成を図るための基本計画を策定する。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	5,134				
	(b) 予算現額	4,820				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 314				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	4,820	0			
	B. 執行済額	4,820				
	うち交付金充当額	3,856				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。				

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		万座毛周辺整備基本計画の策定	目標 (基本計画策定)	()	()
	実績	基本計画策定			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	万座毛周辺整備基本計画策定業務として、基礎調査の中で、現況調査、上位計画との関連、社会動向調査を実施したほか、9名の有識者や関係者等による委員会を3回開催した。また、村民意向調査としてワークショップを3回開催し、問題点と課題を抽出した。その基礎調査を受け、観光振興・地域振興の視点から万座毛周辺の果たすべき役割やあり方を検討するとともに、整備の目標を設定したほか、整備を進める上で配慮すべき事項を整理し、事業の基本方針を設定した。基礎調査、基本方針の設定により万座毛周辺整備基本計画を策定する事が出来た。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			万座毛周辺整備基本計画の策定	目標 (基本計画策定)	()	()
		実績	基本計画策定			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	万座毛周辺整備基本計画の中では、導入機能の検討や機能配置を考慮したゾーニング及び整備計画平面図、各施設の施設イメージ等を作成する事が出来た。平成25年度以降、事業後の運営体制などの地元、関係者の合意形成を実施し、その後実施設計、整備工事を実施する予定である。					

市町村名	恩納村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	県外観光客誘客促進事業（おんな村観光物産展事業）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	東京池袋（サンシャインシティ）において、本村の観光、文化、特産品を紹介する観光物産展を開催する。エイサーの実演、特産品の販売等を行い特産品の販路開拓、観光PRを実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,500				
		(b) 予算現額	4,333				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,167				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,333	0			
	執行額	B. 執行済額	4,332				
		うち交付金充当額	3,466				
		次年度繰越額	0				
		執行率（%）(B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	<p>展示に係る花卉類を提供してもらい、参加人数を減らす等、当初の計画に対し調整した結果、当初予算額より予算現額が3,167千円減額となった。</p>						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	サンシャイン「沖縄めんそーれフェスタ」物産展の開催	目標	（ 物産展の開催 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	物産展の開催				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・物産展では恩納村の特産品であるもずく、海ぶどう、パッションフルーツ等を紹介し販売した。もずく天ぷらも好評であった。 ・特産品として力を入れている熱帯果樹「アテモヤ」は出荷時期ではないため冷凍保存し、試食をしてもらったが、こちらも購入したいという声が多く、収穫時期等を説明しながら良いPRができた。 						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（26年度）
	サンシャイン「沖縄めんそーれフェスタ」物産展来場者数	目標	（ 48,000人 ）	（ 60,000人 ）	（ ）	（ ）	（ 106,000人 ）
		実績		63,440人			
	【参考指標】	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・サンシャインシティから沖縄県人会への呼びかけ等を行い、故郷を懐かしく思い来場する方が多くみられた。 ・「村のお母さんの味」と称した恩納村のもずく天ぷらやそば等はリピーターの方もおり、週末は行列を作っていた。 ・来場者数は平成24年度の目標を上回り、平成23年度と比較しても32%の伸びとなっている。 					

市町村名		恩納村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑩	県内外観光客誘客促進事業 （「春や春おんなWEEKでたのしまナイト！！」事業）			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部課名	商工観光課	事業実施 （予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	沖縄県内の若手芸能トップレベルの実力を持つ「沖芸琉球芸能専攻OB会」のメンバーを中心に琉球芸能、組踊り、芝居、空手などの舞台公演を実施するとともに会場周辺での地元特産品販売等を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,000					
		(b) 予算現額	7,000					
		(c) 増減額 (b-a)	2,000					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	7,000	0				
	B. 執行済額		7,000					
	うち交付金充当額		5,600					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	芸能イベント開催件数	目標	(4回)	()	()	()		
		実績	4回					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定していた3月の土日（昼、夜公演）の計4回の公演を実施した。 ・第1部「楽しい組踊り」、第2部「世界レベルの空手」、第3部「GLORIOUS”RYUKYU春や春～」と3部構成で開催された公演には目標に近い観客の集客ができた。 ・大学院大学関係者及び外国人移住者、観光客を意識し、英語のナレーション解説を日本語字幕で標記するなど、外国人も楽しめる取組みを行った。 							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （28年度）	
	公演入場者数	目標	()	(900人)	()	()	(1,600人)	
		実績		881人				
		目標	()	()	()	()	(1,600人)	
		実績						
	進捗状況説明	テレビ、ラジオCM、新聞広告を活用し集客を図った。その効果として村外からの観客が多く、外国人の方も増えていた。しかしながら、目標人数の900人を若干下回っており、村内向けの広報活動が弱かったことが原因だと考える。						

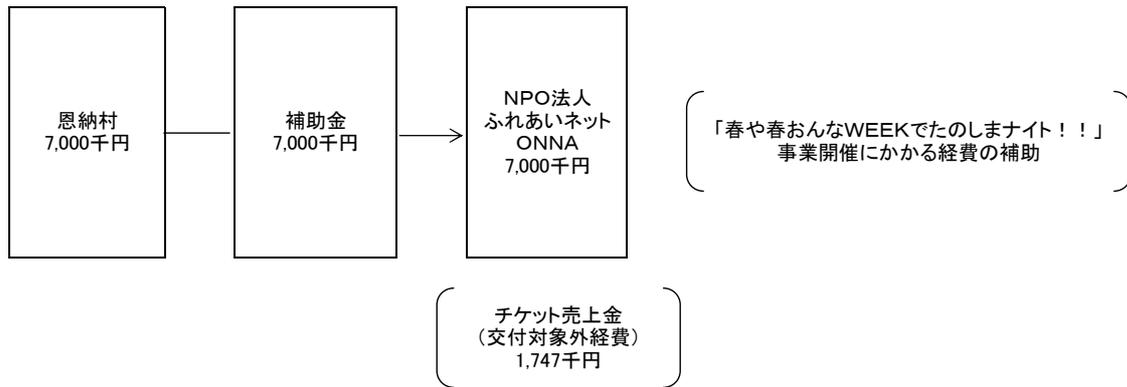
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・開催時期の検討と集客を伸ばす工夫が必要であり、宣伝や村民向けの広報(各家庭へのチラシ配布)の方法を検討する必要がある。	・開催時期を3月から2月に見直し、更に夏季開催を追加する。 ・公演の周知として村内公民館やホテル、その他関係業者等とのタイアップを強化する必要がある。 ・宣伝の方法として、村ホームページや広報誌掲載、広報無線等の利用も行う集客アップに繋げる。

今後の取り組み方針

・今後は、「春や春」の公演に加え、ピアガーデンで野外ステージを楽しめる夏のイベントも企画し、恩納村をPRしていく(平成25年度は春・夏各4回、計8回の公演を予定している)。
・村内のホテルへ宿泊している観光客を対象に、巡回バスの運行が可能か検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
8,747	7,000	5,600	1,400	1,747



資金の流 れの点 検・費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	ONPO法人ふれあいネットONNAへ補助金を交付し、公演を開催。恩納村を文化の村として発信し観光へ繋げることができる内容であった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものであった。支出等に関する書類も確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名	恩納村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑫	観光地危険生物駆除事業（ハブ駆除事業）	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ			
担当部課名	村民課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	ハブ及び外来種のタイワンハブが村内で頻繁に捕獲、発見されるようになり、観光地周辺や国頭方西海道（歴史の道）などにおけるハブ出没も多く、観光地周辺や歴史の道の散策者などの咬傷事故が予想されるため、積極的に駆除することを目的とする。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,063				
		(b) 予算現額	4,043				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 20				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		4,043	0			
	B. 執行済額		4,032				
	うち交付金充当額		2,438				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		99.7%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ハブ生息地域へのハブ捕獲器設置数	目標	(400箇所)	()	()	()	
		実績	386箇所				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・観光地周辺を中心に、村南部のタイワンハブ生息地にハブトラップ（罟）を設置して捕獲した。 ・7月からの事業実施により、捕獲器設置数の実績が下回った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	ハブ捕獲数	目標	()	(150匹)	()	()	()
		実績		184匹			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	活動目標の捕獲器設置数は目標を下回ったが、効率的な捕獲器設置で捕獲数は目標を上回った。					

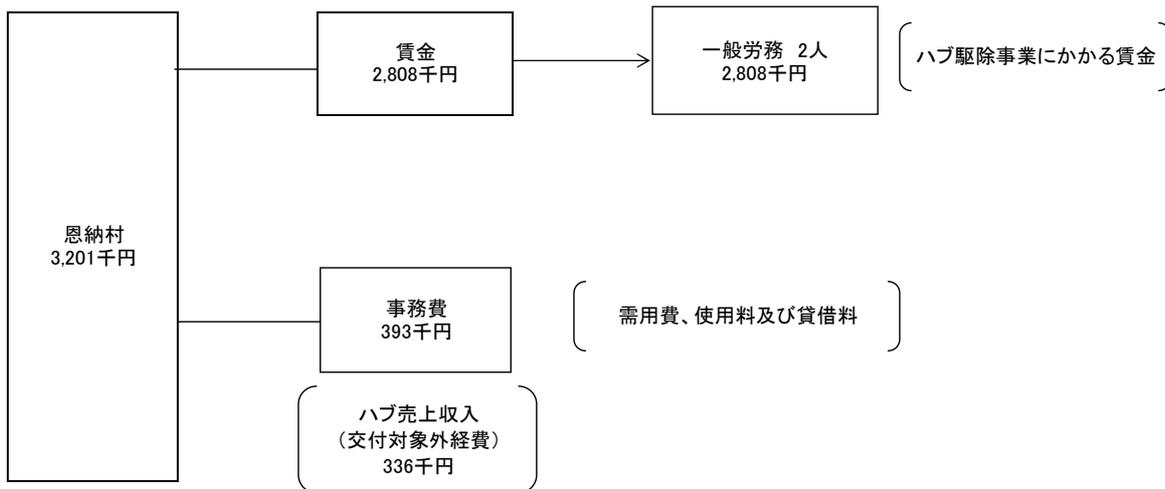
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	7月から事業を開始したため、ハブの活動が活発になる前の捕獲器設置が出来なかった。	4月から事業を実施することにより、ハブの活動が活発になる前に捕獲器を設置する。

今後の取り組み方針

- ・平成25年度の事業計画は早期着手事業とし、4月から着手する必要がある。
- ・継続的に駆除事業を実施することにより、観光客や地域住民の危険を除去し、更なる安全・安心な観光地を目指す。
- ・捕獲器設置数を増やし、タイワンハブ生息地域の拡大を抑制する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,537	3,201	2,438	763	336



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○賃金職員の採用方法について、経験者及び公募による採用を行った。 ○費目、用途については事業目的の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	